

第2章 高齢者の現状と将来推計

第1節 高齢者の現状と推計

平成12年度の総人口は4,015人、うち65歳以上の人口（高齢者人口）は1,184人、高齢化率は29.49%でしたが、5年後の平成17年度には総人口3,626人、高齢者人口1,245人、高齢化率34.34%になり、さらに5年後の平成22年度には総人口3,368人、高齢者人口1,271人、高齢化率37.74%と急速に高齢化が進んでいます。

国立社会保障・人口問題研究所の「日本の地域別将来推計人口」（コーホート要因法により推計）から、平成29年度の人口は2,996人と予測され、平成22年度の在籍数に比べて372人程度の減少が見込まれます。

一方、高齢者の人口は1,310人になり、平成22年度と対比すると39人の増と予測され、高齢化率は43%を超える推計となります。

今後、置戸町では後期高齢者層の増加が見込まれますが、65歳～74歳の人口は減少していく推計となっており、高齢者人口は平成27年度をピークに緩やかに減少していくと推測されます。

※コーホート要因法とは、各コーホート（同じ年または同じ期間に生まれた人々の集団）について、「自然増減（出生と死亡）」及び「純移動（転出入）」という2つの「人口変動要因」それぞれについて将来値を仮定し、それに基づいて将来人口を推計する方法で、国勢調査等多くの人口推計算出に用いられる。

■高齢者数等人口の推計

（単位：人）

区分	平成12年度	17年度	22年度	26年度	27年度	28年度	29年度	37年度
総人口	4,015	3,626	3,368	3,141	3,109	3,053	2,996	2,545
40～64歳 総人口比 (%)	1,452 (36.16)	1,227 (33.84)	1,088 (32.30)	980 (31.20)	908 (29.21)	879 (28.79)	852 (28.44)	676 (26.56)
65歳以上 高齢化率 (%)	1,184 (29.49)	1,245 (34.34)	1,271 (37.74)	1,285 (40.91)	1,326 (42.65)	1,318 (43.17)	1,310 (43.72)	1,184 (46.52)
65～74歳 総人口比 (%)	661 (16.46)	596 (16.44)	533 (15.83)	525 (16.71)	522 (16.79)	515 (16.87)	509 (16.99)	385 (15.13)
75歳以上 総人口比 (%)	523 (13.03)	649 (17.90)	738 (21.91)	760 (24.20)	804 (25.86)	803 (26.30)	801 (26.74)	799 (31.39)

※ 平成12、17、22年度は実績値、平成26～29年度及び平成37年度は推計値を記載。

第2節 日常生活圏域の設定

介護保険事業計画では、高齢者が住み慣れた地域で生活を継続できるよう、日常生活圏域を設定し、その圏域ごとにサービス量等を見込むこととされています。

生活圏域の1つの指標となる中学校区が本町では1つであり、置戸町の高齢者ケア体制は、地域包括支援センターを核として、地元病院、社会福祉協議会、民生委員、老人クラブ連合会、特別養護老人ホーム、養護老人ホーム等の意見を取り入れながら、総合的な高齢者福祉施策を展開してきました。

第6期計画においても、地域包括支援センターを中心に、置戸町全域を1区域の生活圏域として、その全域で高齢者福祉サービスを展開していくこととします。